

**2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）**

2026年3月13日

上場会社名	株式会社シルバーライフ	上場取引所	東
コード番号	9262	URL	<a href="https://www.silver-life.co.jp/">https://www.silver-life.co.jp/</a>
代表者（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	清水 貴久
問合せ先責任者（役職名）	取締役管理部長	（氏名）	増山 弘和
半期報告書提出予定日	2026年3月13日	配当支払開始予定日	—
決算補足説明資料作成の有無	：有		
決算説明会開催の有無	：有		（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

**1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の業績（2025年8月1日～2026年1月31日）**

 （1）経営成績（累計） （%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	8,071	11.4	583	31.5	673	30.0	411	30.6
2025年7月期中間期	7,246	8.0	443	△9.7	517	△11.2	315	△12.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年7月期中間期	37.75		37.61					
2025年7月期中間期	29.04		28.83					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	10,578	7,209	68.2
2025年7月期	10,452	6,972	66.7

（参考）自己資本 2026年7月期中間期 7,209百万円 2025年7月期 6,972百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年7月期	—	0.00			
2026年7月期（予想）			—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2026年7月期の業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）**

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	3.9	1,040	22.3	1,170	15.3	810	15.3	74.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年7月期中間期	10,907,600株	2025年7月期	10,907,600株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年7月期中間期	423株	2025年7月期	422株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年7月期中間期	10,907,177株	2025年7月期中間期	10,859,978株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により、個人消費が緩やかな回復基調で推移した一方、労務費上昇の継続と流動的な国際情勢や国内政治の動向による為替相場の変動と、それに伴う原材料価格への影響により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社の属する高齢者向け配食サービス市場においては、高齢者人口の増加を背景に今後も需要拡大が予想されておりますが、慢性的な配達人員不足が業界共通の課題となっており、不安定な状況が続いております。

高齢者施設向け食材販売市場においては、介護現場の人手不足を背景に、調理業務の軽減ニーズが高まりを見せ、コスト削減と運営効率化を目的とした外部委託化が市場拡大を後押ししております。

冷凍弁当の販売市場においては、簡便性や健康ニーズ等により市場全体は拡大傾向にありますが、競争は激化しております。

このような状況のもと、売上面においては、FC加盟店向け売上におけるコメ価格の上昇があったほか、高齢者施設等向け売上における冷凍食材需要の増加と2025年9月の価格改定、また直販・その他の冷凍弁当における2025年10月以降の段階的な価格改定により、全体として増収を達成しました。

製造面においては、2025年12月からの外部委託食材の内製化割合の引き上げに備えたことで、労務費や消耗品費が増加しましたが、高齢者施設等や直販における価格改定が奏功し、売上総利益は前年同期比改善しました。

また、販売管理費においては、運賃コストの上昇により物流費が増加したほか、売上拡大を目的とした広告宣伝費用も増加基調となりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は8,071,613千円(前年同期比11.4%増)、営業利益は583,282千円(同31.5%増)、経常利益は673,114千円(同30.0%増)、中間純利益は411,762千円(同30.6%増)となりました。

販売区分別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① FC加盟店

FC加盟店数においては、オンデマンド配信型のFC説明会や撤退店舗の近隣オーナーへの引継ぎ強化等を行い、当中間会計期間末における店舗数は916店舗となりました。また、原材料価格や人件費等の上昇に伴い、2025年12月に価格改定を行っております。

この結果、当中間会計期間の売上高は4,687,996千円(前年同期比1.6%増)となりました。

#### ② 高齢者施設等

高齢者施設等においては、冷凍食材の需要が高まっていることから冷凍食材を中心とした新規営業を進めてまいりました。また、原材料価格や人件費等の上昇に伴い、2025年9月に価格改定を行っております。

この結果、当中間会計期間の売上高は1,215,151千円(前年同期比38.3%増)となりました。

#### ③ 直販・その他

直販・その他においては、ECを主体とした冷凍弁当の直接販売(BtoC)において、広告宣伝の有効活用や、WEBプロモーションによる積極的な販売促進活動を展開しました。また、原材料価格や人件費等の上昇に伴い、2025年10月より冷凍弁当の価格改定を段階的に行っております。

この結果、当中間会計期間の売上高は2,168,465千円(前年同期比23.7%増)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の資産合計は、商品及び製品が131,615千円増加したこと等により、前事業年度末より125,242千円増加の10,578,041千円となりました。

負債合計は、長期借入金169,698千円減少したこと等により、前事業年度末より112,004千円減少の3,368,683千円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が237,247千円増加したこと等により、前事業年度末より237,247千円増加の7,209,358千円となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より35,308千円減少し、1,563,564千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、762,449千円(前年同期は609,097千円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、税引前中間純利益667,862千円、減価償却費463,751千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額176,985千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、453,316千円(前年同期は510,218千円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出400,495千円、無形固定資産の取得による支出54,519千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、344,441千円(前年同期は23,894千円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額174,152千円、長期借入金の返済による支出169,698千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、2025年9月12日付の「2025年7月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当中間会計期間 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,598,872	1,563,564
売掛金	1,433,994	1,351,023
商品及び製品	389,941	521,556
原材料及び貯蔵品	104,221	142,405
その他	664,398	713,489
貸倒引当金	△86,483	△91,295
流動資産合計	4,104,944	4,200,745
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,010,663	2,945,129
機械及び装置(純額)	1,684,790	1,707,883
建設仮勘定	71,439	123,242
その他(純額)	1,044,311	1,067,399
有形固定資産合計	5,811,205	5,843,654
無形固定資産		
	310,095	296,944
投資その他の資産		
その他	336,494	341,070
貸倒引当金	△109,940	△104,372
投資その他の資産合計	226,553	236,697
固定資産合計	6,347,854	6,377,296
資産合計	10,452,798	10,578,041
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	568,836	486,239
契約負債	18,089	23,960
リース債務	1,182	1,182
未払金	716,087	770,938
1年内返済予定の長期借入金	339,396	339,396
未払法人税等	197,430	292,426
株主優待引当金	-	30,520
その他	146,938	107,140
流動負債合計	1,987,960	2,051,802
固定負債		
長期借入金	1,341,591	1,171,893
リース債務	2,868	2,277
長期契約負債	3,787	4,167
その他	144,478	138,541
固定負債合計	1,492,726	1,316,880
負債合計	3,480,687	3,368,683

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当中間会計期間 (2026年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,694	735,694
資本剰余金	725,694	725,694
利益剰余金	5,511,677	5,748,925
自己株式	△956	△956
株主資本合計	6,972,111	7,209,358
純資産合計	6,972,111	7,209,358
負債純資産合計	10,452,798	10,578,041

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	7,246,458	8,071,613
売上原価	4,791,045	5,251,235
売上総利益	2,455,412	2,820,377
販売費及び一般管理費	2,011,991	2,237,094
営業利益	443,421	583,282
営業外収益		
受取利息	5,458	6,693
受取補償金	46,529	51,528
受取手数料	18,116	18,598
株主優待引当金戻入額	18,854	-
その他	27,656	45,677
営業外収益合計	116,614	122,498
営業外費用		
支払利息	4,698	6,411
賃貸費用	19,236	18,585
貸倒引当金繰入額	13,326	-
減価償却費	4,909	4,892
その他	275	2,776
営業外費用合計	42,446	32,666
経常利益	517,590	673,114
特別損失		
固定資産除却損	6,237	5,251
その他	1,511	-
特別損失合計	7,748	5,251
税引前中間純利益	509,841	667,862
法人税、住民税及び事業税	203,983	269,353
法人税等調整額	△9,473	△13,252
法人税等合計	194,510	256,100
中間純利益	315,331	411,762

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	509,841	667,862
減価償却費	431,930	463,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	52,959	△756
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△21,826	30,520
受取利息及び受取配当金	△5,458	△6,693
支払利息	4,698	6,411
有形固定資産除却損	6,237	4,042
売上債権の増減額(△は増加)	51,248	82,970
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,355	△169,799
仕入債務の増減額(△は減少)	△194,874	△82,596
無形固定資産除却損	-	1,208
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,863	△23,978
契約負債の増減額(△は減少)	△2,560	6,250
長期未収入金の増減額(△は増加)	-	2,857
その他	△33,459	△42,771
小計	760,516	939,280
利息及び配当金の受取額	5,458	6,693
利息の支払額	△5,199	△6,538
法人税等の支払額	△151,678	△176,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	609,097	762,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△470,996	△400,495
無形固定資産の取得による支出	△42,232	△54,519
貸付金の回収による収入	4,010	4,599
敷金及び保証金の差入による支出	△229	△312
敷金及び保証金の回収による収入	320	126
その他	△1,090	△2,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,218	△453,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△161,365	△169,698
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△161,899	△174,152
リース債務の返済による支出	△629	△591
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,894	△344,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,984	△35,308
現金及び現金同等物の期首残高	1,265,092	1,598,872
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,340,077	1,563,564

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、食材製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
(1) 1株当たり中間純利益	29円04銭	37円75銭
(算定上の基礎)		
中間純利益(千円)	315,331	411,762
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る中間純利益(千円)	315,331	411,762
普通株式の期中平均株式数(株)	10,859,978	10,907,177
(2) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益	28円83銭	37円61銭
(算定上の基礎)		
中間純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	75,818	40,713
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。